

## TOPICS

- 使用済み食用油回収プロジェクト全体会議
- お客様紹介：有限会社福岡運送
- トヨタ自動車MIRAI 初体験
- 今月のプレゼント：新茶

## 使用済み食用油回収プロジェクト第7回全体会議開催 …… 回収の課題みつける ……



使用済み食用油回収プロジェクトが進捗し、事業化に向けての関係者の課題について活発な議論がなされ、有意義な全体会議となりました。

はじめに、全国オイルリサイクル協同組合 岡本技術顧問から、当プロジェクトの経緯、現在までの成果及びバイオ再生重油の使用用途拡大にむけての品質改善の取り組みについて報告がありました。

また岡本技術顧問は、今回の実験より、使用済み食用油の回収を成功させるためには、官・民・福祉の三者が連携することが重要だと、説明されました。

使用済み食用油の回収について、回収作業の課題がみつけられました。福祉関係から

回収作業の効率化 回収容器の取替方法 回収容器の洗浄時間の問題 回収作業コストと収入のバランスなど。

効率化のためには、民間業者の回収の仕方を学ぶことも必要という意見も出ました。

今後は、出来る限り排出事業者の方々にも参加してもらい、地域の方々理解が得られるよう、協力を要請していきたいと思えます。

バイオ再生重油は、平成25年12月にJIS化され、工業製品として認知されましたが、市場を拡大していかなければなりません。

今年度も、需要開拓のために様々な分野の燃焼設備で実験を行って、この事業に関わっている全ての人が、やりがいのある、みんなに誇れるビジネスモデルの構築に向かって進みたいと思えます。

(木村憲、長野)

## お客様紹介

### 有限会社福岡運送 様

〒727-0011

広島県庄原市東本町2丁目8-16

TEL 0824-72-1266

FAX 0824-72-5773



メンテナンスを終えた車両たち（福岡運送様提供）

#### アットホームな雰囲気

福岡運送は、昭和35年に、一般貨物運送業として設立され、現社長は二代目になります。一般貨物のほか、庄原市の学校給食や引越業務も行っています。スタッフは14名、このうち運転手は10名で、平均年齢は45歳。皆まじめでコミュニケーションがうまくとれ、アットホームな雰囲気です。

社員皆が車をととても大事にし、作業後は必ず洗車などのメンテナンスをして一日の仕事を終えます。これは会社にとって自慢できることです。

中国横断道尾道松江線の開通により、尾道や松江方面への所要時間が大幅に短縮され大変便利になりました。物や人の動きがさらに活発になり、山陽と山陰の往来が確実に増えます。



皆さんから頼りにされる福岡社長。



Gマーク制度（貨物自動車運送事業安全性評価事業）

全日本トラック協会が、トラック運送事業者の交通安全対策などへの取り組みを評価し、一定の基準をクリアした事業所を認定する。（HPより引用）

#### Gマーク認定

平成22年に、安全優良事業所として、Gマークの認定を受けました。それに伴って、安全運転マネジメントを確立し、安全運転教育や車両のメンテナンスを定期的に行い、無事故無違反を達成しており、お客さまからの信頼はさらに増えています。

#### 社訓「迅速・確実・丁寧」

お客様から社長の携帯電話に何でも（運送以外でも）依頼がかかります。お客様からは、「社長に頼んだら、なんとかしてくれる」と、信頼は絶大です。社長の人柄がお客様を惹きつけるのです。先代から、「迅速・確実・丁寧」を社訓としています。これからも、お客様から信頼され、喜んでいただける仕事をしていくと、福岡社長から力強い言葉をいただきました。

（聞き手長野）



使用済み潤滑油を入れるタンクに屋根をつけていただきました。雨水が混入することなく、安心です。

#### 庄原市情報

庄原市は、豊かな自然に恵まれ、自然を満喫できる公園やスポーツ施設などが多く存在します。

キャンプ場やスキー場などの施設は、シーズンになると多くの家族連れなどでにぎわいます。季節ごとに彩を添える美しい花々やイルミネーションが有名な国営備北丘陵公園や美しい渓谷の帝釈峡があります。

## 金融機関でのプレゼンテーション

今回『使用済み廃食油から始まる山陰興業のBtoC』という題名で、プレゼンさせて頂きました。なかなか人にもものを伝えると言うことは難しく、私たちの考え方がうまく伝わったかどうかはわかりませんが、「BtoBの企業でもCとのつながりが必要である。地域に密着した活動」という点については、金融機関も同じ考えだと支店長様も賛同して頂きました。

また、これからも私たちの事業活動をこの地域で行っていくには、もっとお客さまや地域の人たちに理解していただかないといけません。そして、このリサイクル活動に対して、資源（使用済み潤滑油）を出す人、集める人（当社）、使う人（納品先のお客さま）が、誇りと自信を持つことができるような社会になって欲しいと感じます。

職員の皆さんの応援と優しい声かけで、より一層『頑張らねば!!』と思いました。

（木村憲）



## 神西湖一斉清掃

本清掃行事は、20年前から続いており、年々参加者が増えてきています。地域の皆さん、地元小・中学校、地元企業、今年は小学生の野球チームとミニバスケットチームも加わり、総勢約450人が参加しました。

「出雲市の宝である、神西湖の環境整備をして、地域の方々の心休まる場所にしていきたい。桜の植樹も進み、昨年100本になり、今年もちらほら咲き始めている」と神西コミュニケーションセンター長の挨拶がありました。天気にも恵まれ、作業がはかどりました。まもなく花見の時期ですが、きれいな環境でゆっくり桜を楽しむことができると思います。

（長野）



## トヨタ自動車MIRAI 初体験

『燃料電池自動車「MIRAI」の開発とその魅力』と題して、トヨタ自動車 製品企画部 主幹 野正様の講演を3月18日くにびきメッセにて、拝聴する機会をいただきました。「MIRAI」という名前から、現車を見てよりワクワクしました。まさに未来を象徴していると感じました。

燃料電池自動車の特徴である水素は、二酸化炭素を排出せず、クリーンである。無限に存在する。貯める・運ぶことが可能であるという利点があり、人類の課題を解決するものであると力説されました。

私自身は今まで、水素=爆発といった素人の知識しかなく、このような再生可能エネルギーとして着目されたことは、大きな発見だと感じます。ひとつのエネルギーに依存せず、今までのエネルギーと共存しながら、普及すれば良いのではないかと考えます。様々な燃料の特徴を活かした車両のすみわけが必要と感じます。

ただ気になるのがコストです。将来的に、ガソリン車と同じくらいのランニングコストになるように考えられているようです。

2020年の東京オリンピックまでに、水素社会が来るのではないかとわれていますが、世の中はめまぐるしく進化していきます。それに伴い、インフラが地方の末端まで整うことが前提です。

このようにクリーンなエネルギーである水素は、その大きな可能性をもって、明るい未来を描くものと確信します。（長野）



日本に2台しかない試乗車です。運転席に座らせていただきました。

「気持ちよく働くちょっとした極意」を読んで

金児昭著

この本の中で気になったところがありました。『品格は極端に言えばフリをすればいいんですよ。そもそも本当に品格がある人なんて滅多にいない。多くの方は“フリ”をしようとしているだけである。そして、こうしたフリをすることは決して悪いことではない。品格を真似すると不思議と少し気分が良くなる』と……

社会では品格云々と言われていますが、この本からすれば、品格のある人を手本にして真似していけば、自然に品格が身につくとのことでした。これも感動を探していけば、結果その人の品格もわかるということだと思えます。

（中村）







## ふるさとのエネルギーを活用する

・周りから、お客さまから素晴らしいと言われる社員と会社になる・

社長 山根久志

最近私たちの周りに、二つの新しい動きがありました。一つは全国オイルリサイクル協同組合から、「品質改善の研究開発」の成果のレポートが発表されたこと。今一つは、同じ協同組合の主催で、「使用済み食用油回収プロジェクト第7回全体会議」が島根で開かれたこと。

このように半世紀の歴史がある私たちの商品「再生重油」は、前回のJIS認定という品質の確定に続いて、今回品質の改善への流れが見え始めました。

もともと「再生重油」は、それぞれの地域の中にある無数の発生源（SS、カーディーラー、修理工場など）から出る石油資源（不要になった使用済み潤滑油）を、その地域の私たち業者が、原料として収集する。そして私たちが精製し、この地域から出る新しいエネルギー源として、この地域の経済に活用する。

しかもこのエネルギーをつくるための金銭の流れは、石油元売りが販売する一般の石油商品と違

い、産油国とのドルの決済がない。原料代、製造費用、販売代金、利益金など、経済活動が地域内でのみ発生し、流通することが特徴です。欠点といえば、供給量に限度がある。品質に解決しなければならない点がある。このように地域需要や地域振興を大切にすることから、エネルギーの地産地消と名付けたい。

もう一つの、家庭に眠っている使用済みの食料油を、障がい者の人たちの協力を得て集める。そして再生重油と均質に混合し、バイオイルという環境にやさしい、新しい商品をつくる。

これが完成すれば初めて、私たちが長い間続けてきたことが、一般市民の人たちとの接点ができ、認知してもらえる。結果私たちに誇りと自信が芽生えることが始まります。

そして私たちの力で、ふるさとのエネルギーが活用され、我がふるさとが元気になれるように努力したい。

### 私はこう考え、こう実行します

【安原】私たちが取り扱っている使用済油は地域の貴重なエネルギー資源である。その自負心を持って活動する。

【松下】地産地消を意識し、商品を購入する。

【河上】新たに設備変更されるお客様にバイオイルの使用を進める。

【岸本】お客様の立場にたって物事を考え、行動する。

【榎並】お客様に理解していただけるような提案活動を行います。

【山口】私は地域から出る石油資源に感謝し、収集します。

【大國】発想を豊かにもって、挑戦することを忘れない。

【木村】デカンタを更新し、品質を良くする。

【吾郷】お客様とのコミュニケーションを大切に、原料の県外流出を防ぎます。

【木村憲】ふるさとのエネルギーを活用する。

【松本】地産地消をめざし自分に何が出来るか考えて行動する。

【横地】自分が集めた原料が、また別のお客様先で新しい製品やサービスとして提供されていることを誇りに思います。

【高橋】私は、新しいエネルギーの実現のためにより一層、関係者との連携を密にします。

【長谷川】少しでも山陰（ふるさと）の力になれるよう頑張る。

【植尾】お客様の役に立つことを探す。

【小村】お客様が安心して営業活動ができるようKYSの品質を高める。

【恩村】一つ一つの仕事に責任を持って取り組みます。

【金森】ベストを尽くす。

【野々村】地域のお客様のためになることを考え、最大限努力する。

【安達】地産地消を誇りに思い、安全に再生油をお届けする。

【藤原拓】お客様に喜んでいただける廃油タンクを制作します。

【清水】私は、市民の人たちから喜んでもらえる仕事をしたいと思います。

【藤原大】周囲の人の役にたつよ

う、仕事をしていきます。

【宮北】今すべきことをしっかり行う。

【石川】より良い製品が作れるように考える。

【松浦】環境保全に努め、ふるさとを大切にします。

【石橋】地域から出る資源を収集しそしてまたその地域で使用してもらえる様、環境にやさしい再生油をつくる。

【中村】現場にて、整理・整頓・清潔・清掃・安全(KY)を徹底し、安全作業ができるように常にチェックして作業を行います。

【足立】私はお客様に感謝の気持ちで対応します。

【藤田】山陰地方が少しでも豊かになるよう微力ながら頑張ります。

【加藤】整理・整頓に心掛け、安全作業に努める。

【三原】少しでも地域経済、地産地消に貢献できるよう考えて生活します。

【長野】エコス通信のお客様情報を充実させる。



### ウォームアップウェア公開

ウォームアップウェアに弊社名の貼付けができました。この長袖の他に、半袖のシャツにも社名を入れています。

主に、公式戦試合開始前のウォーミングアップの際に着用します。

皆様、ご注目ください。



写真は、背番号23、実信憲明選手です。

### 「一見便利なメール」

メールは大変便利なツールである。電話のように相手の都合を気にしなくても用件を伝えることができるし、送付した瞬間に相手に届く。しかも何年経っても記録として残しておくことができる。

社内でも日報をメールで送るようにしたことで、その日の内に関係者に情報を届けることができるようになった。

しかしメールは便利であるがゆえにそれに依存し過ぎているのが現状ではないだろうか。直接会って話をすれば、相手の表情や仕草で感情を読み取ることができるし、電話であれば声のトーンや口調で相手の気持ちを読み取ることができる。

メールだけではコミュニケーションはとれないのである。

大切な用件であればあるほど、メールを送った後の電話フォローが必要であるし、メールの文章では伝えきれない「思い」を伝える必要がある。

相手と良好な関係をつくり、信頼関係を強くするためには、やはり会話が一番重要であると思います。(安原)

## 鳥取営業所～information～



4月6日、鳥取東消防署から一般取扱所と屋外貯蔵所の現地確認がありました。

指摘事項・指導事項ともありませんでした。毎朝、屋外タンク周り、露出配管等を目視点検し、定期的に油水分離槽の吸着マットの交換、受入吐出ボックスの掃除も行っています。いつでも安全な作業ができるよう、確認をしていきます。(大國)

### 元氣の出る言葉

中村天風師

### 感謝の念をもっていける

愚痴をこぼさず、何事も自分のこととしてとらえる。

不平不満を言わず、何事も真摯に受け止める。

「心ひとつの置きどころ」と、言われるように、

自分自身のこころの持ち方です。

本人が有難いと思えば何でもありません。

いつも周囲への感謝の気持ちをもっていたいと思います。(長野)



「イカリソウ」花の形が船の錨に似ていることから名付けられました。

社長が薦める今月の一冊

# 生き方

人間として一番大切なこと  
稲盛和夫著 サンマーク出版刊



2004年8月初版から11年間、その間に118万売れたと聞きました。

ずいぶん前ですが、私は「経営をしなさい」と命じられた。事業をしてみると、壁ばかりが私の前に立ちふさがる。迷っていた私に、「師匠を持ちなさい。勉強しなさい。」と教えていただいた恩人がいます。

教えに従って、経営に関する本を読むことを始めました。そのなかでも、この「生き方」を初めとして、稲盛さんの多くの著書から学びました。感じる箇所があるたび、赤鉛筆で傍線を引き、日付を書き込み、色付きの付箋をそのページに貼って読みました。

「炎に神宿る」とも教えられました。今まで市場になかったファインセラミックスを試作しているとき、早く完成して欲しいとの熱い思いで、焼成の炎を強く注視している。やがてあの強烈な白い炎に神が宿っている心になる。熱い思いで事業に打ち込みなさいという稲盛さんの教えです。

この本は何人かの人から、私たちに寄贈していただきました。その人たちも、稲盛さんに強く感じるところがあったと確信します。(山根)

## 今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に新茶を差し上げます。クイズの締切は4月末です。奮ってご応募下さい。

Q：3月22日全線開通した中国横断自動車道  
尾道松江線の名前は？

先月号の答は、「銀行員」  
でした。  
倉吉市涌嶋様が当選です。  
おめでとうございます。



応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

## 蔵書新着状況

- ・社長のいき方 牟田學 PHP研究所  
日本経営合理化協会 牟田學理事長より寄贈
- ・クロネコヤマト 人の育て方 水迫洋子 中経出版
- ・藻谷浩介対話集 しなやかな日本列島のつくりかた  
藻谷浩介 新潮社
- ・賢人のビジネスリーダー力 星野佳路 幻冬舎
- ・8割の「できない人」が「できる人」に変わる！行動  
科学マネジメント入門 石田淳 ダイヤモンド社
- ・稲盛和夫の哲学 人は何のために生きるのか  
稲盛和夫 PHP研究所
- ・21世紀の資本 トマ・ピケティ みすず書房
- ・日本の大和言葉を美しく話す一ところが通じる和の  
表現 高橋こうじ 東邦出版
- ・星野リゾートの教科書 中沢康彦 日経BP社
- ・文藝春秋 2015年4月号  
緊急特集「見たことのない戦争が始まった」

「君に成功を贈る」(中村天風)を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお届けします。

本代は¥1,800+税(税込1,944円)です。

## 編集後記

経済産業省が、全国1741市区町村の暮らしやすさを貨幣価値に置き換える調査をしたところ、松江市が1位となった。2位が出雲市、3位が江津市、4位が米子市、6位が鳥取市、7位が安来市、10位に雲南市と山陰両県の7市が入っている。適度な人口規模で生活の質や、大地震のリスクが低いことが要因らしい。

松江市、鳥取市は県庁所在地ながら人口は少ない。しかし、美術館やスポーツ施設などが充実している。また、山陰地方は自然災害が少なく、この点が一番に評価されたように思う。松江市が堂々の1位ということとはとても誇らしい。これを機に、U・Iターンが増えることを願います。(長野)



発行日：毎月10日

発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野

E-mail : h.nagano@e-skk.co.jp

印刷：授産センターよつば印刷係

ホームページ (<http://www.e-skk.co.jp>)

## 山陰興業蔵書本をお貸しします

本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。

営業マンや当編集部に遠慮無くお申し付け下さいませ。